

新型コロナウイルス感染者発生は擬陽性であったことの報告 続報

12月27日（月）、障害者支援施設嵐山四季の家の入所者より1名の方が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

この方は、近頃食事の摂取がままならず、微熱も続いていたことから、27日より入院を予定、その際のPCR検査で陽性となり、感染が明らかになったものです。

結果判明後この方は、保健所の指定した医療機関に入院となりました。

嵐山四季の家には保健所が立入り、濃厚接触者の確認が行われ、職員他29名、利用者11名が該当となりました。また、施設に暮らす利用者45名と働く職員56名全員がPCR検査を受けました。

PCR検査結果は、28日の午後判明し、全員陰性となりました。

なお、29日に感染者の検体を別の機関で検査したところ、陰性との結果が出され、保健所より平常の体制に戻してよいとの指導を受け、嵐山四季の家は午後0時50分、コロナ対応シフト全面解除に至りました。

皆様にはご心配、ご迷惑をおかけいたしました。また、年末年始期間に伴い、ホームページ上でのご報告が遅れてしまいましたこと、お詫び申し上げます。

今後も感染拡大防止に全力で努めてまいりますので、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年1月5日
社会福祉法人 青い鳥福祉会
理事長 武石 光紀